中部日本
戰時版

發行所
中部日本新聞社
名古屋市中區西川端町一ノ五
別館
同　[illegible]區[illegible]幸本町通二ノ二四

一ヶ月七十錢（一部）三錢

發行人
編輯人
印刷人
松島加
村山德
婦　登
總嚴一

ラバウルに六十機來襲

【ラバウル十六日發特電】十四日午前ラバウルに對し敵機戰爆約六十機が編隊をとつて來襲、付近沿岸その他に盲爆を行つた

ガ島勇士今なほ奮戰

密林から奇襲反復

敵中に必勝の信念

【リスボン十六日發特電】APロンドン十日發の電報によればガダルカナル島には日本軍小部隊がいまだに活躍してゐることを傳へてゐる、同部隊はガ島撤收當時以來殘留してゐたものと思はれるが、この事實は最近ガ島から中部太平洋の基地に到着した米軍將兵が『日本軍の小部隊がジャングルの中にかくれてゲリラ戰を行つてゐる』と語つたのではじめて世の話題となつたものである

死生超ゆ皇軍精神

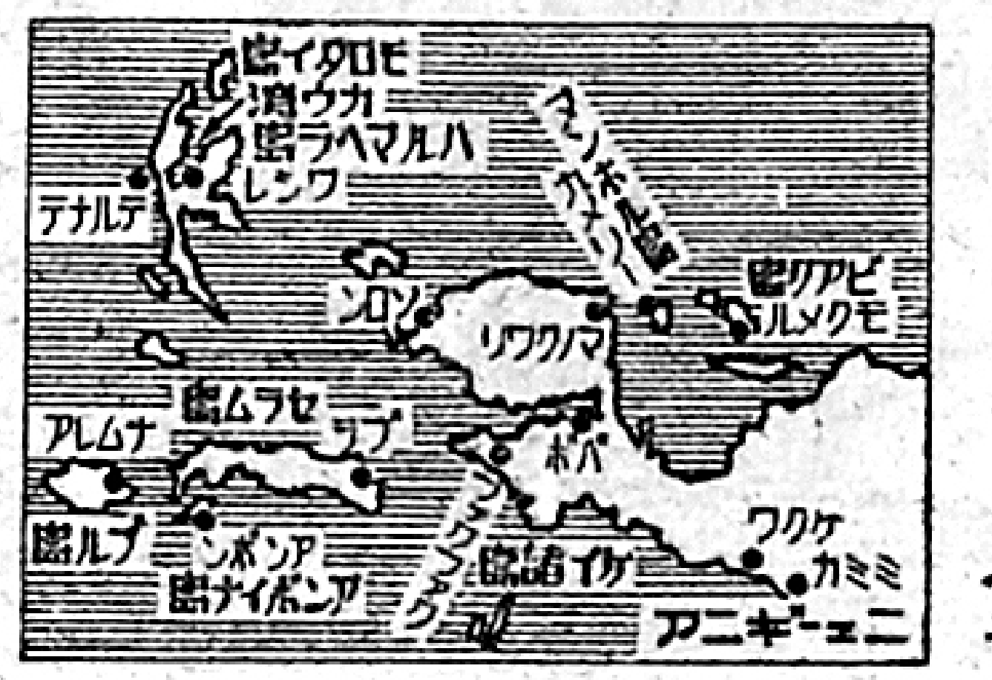
轉進以來一年有半

昨年二月ガ島より轉進のため殆んどの部隊は撤收したが、當時敵中深くまたジャングルの中に潜入してゐた少數の部隊は本隊との連絡が出來なかつたためそのまゝガ島に殘留せざるを得なくなつたのであらう、これらの小部隊は三々五々集結して最後までの抵抗を誓ひ合ひジャングルの奧深く居を占めて出沒してゐるものであらう、即ちガ島轉進以來一年有半通信全く杜絶した中で草根木皮により露命をつなぎしかも積極的に敵中に突入して糧食、彈藥を奪ひ密林に身を隱して執拗なゲリラ戰を行つてゐるのである　その最後まで敵を斃さねばやまぬ皇軍部隊の活動に悩まされ續けてゐた米軍は遂に悲鳴を擧げ、この事實を隱し切れず發表するに至つたものであらう、既に敵陣營にある絶海の孤島に何の據りどころもたぬ少數部隊が遙かに皇國の最後の勝利を信じ且つ祈りつゝ今なほ死鬪を續けてゐることは生死を超越した軍人精神の權化であり皇國の最後の勝利を確信して今なほあらゆる苦鬪を嘗めてゐるのだ、この事實は皇軍將兵の死してなほ已まぬ敢鬪精神の精華として大きな反響を呼んでゐる

ニューギニア
ラバウル
ソロモン
モレスビー
ガダルカナル島
オーストラリア

大型機ハルマヘラ島を頻襲

【南西太平洋基地十六日發特電】ハルマヘラ島を中心とするニューギニア西部方面に對する敵機來襲はますます熾烈化しつゝあるが、十五日までの四日間に敵機は次の各地に來襲した



テルナーテ　十二日晝間ハルマヘラ島西部テルナーテに敵中型機二機が來襲、十四日晝間にも大型及び中型機廿數機が來襲、わが所在部隊は中型機二機を擊破した

カウ灣　同島カウ灣方面に十三日晝間敵戰爆十六機が來襲、十四日未明には約三十機の敵機編隊が來襲、さらに十五日夜間にも四發大型機を主とする約四十機の戰爆編隊が來襲したがわが所在部隊は果敢にこれと交戰し大型機一機を擊墜した

バボ　十四日朝ニューギニア西端バボに敵四發大型機十三機が來襲した

世界の動き

米　世界侵略の野望露骨

上院民主黨議員マッケライは十五日「米國は戰後自國の安全を圖るため必要なあらゆる島嶼を米領にせよ、一九四一年（本年は四四年）現在の日本領土又は半統治領島嶼の米領化、バーミユダなど歐洲諸國の領土となつてゐる全西印諸島及びエクアドル領ガラパゴス島の獲得」を決議案として上程、陸軍委員長レイノルズもまた「英佛兩國は負債支拂の一部として米國の要求する島嶼を渡すべきだ」と言明した（リスボン發同盟）

潜水艦工場でも罷業

潜水艦の製造に當つてゐるグロットン（コネチカット州）のエレクトリック・ボート會社の職工約四千百名は十五日から罷業を開始した（リスボン發同盟）

民需生產の一部再開

米戰時生產局では開戰以來生產禁止になつてゐた民需品の一部に十五日生產再開を指令して即日實施した（リスボン發同盟）

英　流星彈被害は愈々深刻

本國から歸任した駐米大使ハリファックスは「流星彈による家屋破壞は百万八千戶だ」と述べたが、一晝間に七百戶損んでゐるわけだ、また十三日の新聞は一万三千の婦女子がロンドンから疎開し、疎開列車不足で廿年前の古客車やビクトリア女皇の王室車まで引張りだしてゐるといふ、さらに內務省は七月中の空襲犧牲者は死者二千四百四十一、負傷七千百七と發表した（リスボン發同盟）

ソ聯　シベリアへ大移民令

ソ聯政府はシベリア奧地への大移民に關する法律を制定した、これは東部戰線の兵火被害を受けたもので、要は國境地帶を純粹ソ聯人で固めようといふわけだ（ストックホルム發同盟）

中小反樞軸國集

亞國の新聞發禁解く

アルゼンチン政府は國際情勢の緊迫に應じて非常事態を宣言し通信報道に嚴重な檢閲を實施してゐたが十五日この檢閲制度を廢止すると共に共產系以外の各新聞の發行を許可した、但し非常事態宣言は撤廢されぬ（リスボン發同盟）

敵、遂に坑道戰法

拉孟奪回を焦り拔く

【滇緬國境前線陸井報道班員十五日發】怒江西岸に雲南遠征軍十万を邀へ擊つ所在のわが精鋭部隊は敵が第二次怒江大攻勢を豪語しつゝ性懲りもなく繰返す死物狂ひの總反攻を隨所に擊碎、レド公路打通企圖を完封、引續き殲滅を期し敵に甚大な打擊を與へてゐるが大兵力を繰出す敵の波狀反復攻擊は侮り難く今や怒江西方の戰局面は最も深刻な樣相を呈してゐる

即ち拉孟のわが陣地に對する敵二万の反攻は怒江東岸の敵陣地よりする一日三千乃至五千發の山砲砲擊の支援下に晝夜間斷なき陣地近接を繰返したがわが勇士達は寡兵よく陣前に敵を殲滅して一歩も退かず　敵は遂に坑道掘開による要塞攻城戰術に移り逐次攻擊陣の推進を圖る等窮余の策で拉孟奪回を焦り拔いてゐる、一方騰越に對する敵有力部隊の奪回企圖は在支米空軍の協力下に執拗を極め、同市街の焦土戰に續いてわが所在部隊を壓迫して包圍孤立に陷れようと策したがわが勇士達の奇策と鬪魂の前に敵側は損害累增の一途を辿り八月上旬に同地區のみで收めたるわが方の戰果は遺棄死體九百八十以上、鹵獲彈藥多數に上つてゐる

高黎貢山脈
騰越
拉孟
龍陵
芒市
平戛
怒江

衡陽周邊激戰

【リスボン十六日發同盟】重慶來電＝重慶軍當局は十五日夜「衡陽外周の戰鬪は十四日終日引續き增强された日本軍部隊は攸縣付近で重慶軍を攻擊した」と發表した

米機海上補給路遮斷を策す

【大陸基地堤報道班員十三日發】在支米空軍の「對日空襲企圖」と共に西南支那に主力をおく米第十四航空隊のわが海上交通線破壞もまた企圖輕視を許さぬものがある、即ち敵米の對日反攻の戰略が「日本本土包圍陣の形成」と「日本本土と南方資源地帶との遮斷」といふ相關聯した主眼を持つてゐるとすれば海上交通破壞は敵の戰略の重要な部分を占めると見るべきである、現に最近敵空軍の南支沿岸地域に對する出擊が活潑化しつゝあり特に夜間を選びB29又はB24で波狀的遊擊を試みつゝある警戒すべきは敵の空中よりする機雷敷設で南支の河川或は香港近海には數次に亙り機雷を投下した形跡がある、かゝる敵の出擊は現在のところ「闇夜の遊擊」の域を出ないが、然しわが航空部隊の敵西南基地群に對する强壓に伴ひ敵の反攻は海上補給線破壞といふ形でますます激化するであらう

官吏に斷じて特權なし

サイパンは失へど、太平洋の護りは固し。皇軍將兵と同胞とは一瞬と雖も懈怠は許されてゐないのだ。眼を轉じて大陸を見よ。史上未曾有の大規模に[illegible]として皇軍將兵に依つて戰はれる。斷じて重慶、在支米軍の蠢動、跳梁を許さず。

一億のこれに酬ゆるの途は、一に『航空兵器』の急速なる大增產あるのみ。完全に飛べば忽ち敵を轟ち、戰へば必ず敵を殲滅する優秀機を速に送り屆けることのみ。**これを達成するために、速かなる『根こそぎ動員』を敢行せよ。**ドイツは所謂電擊的の神速さを以て『根こそぎ動員』を斷行した。斯くて劇場なく、學校、大學も閉鎖して今後十ケ月を目標に、祖國の國運を賭すると言ふ。**一億國民の小磯內閣に期待するものは即ちこれである。**一億の決意は既に一死以て斷じて神州を護持するに在る。生命も、財產も、況んや家をも顧みぬ固い決意に狂ひはない。一日も、一刻も速に、敵擊滅の必勝策を具體的に示して、國民をその適性に應じて戰列に就かしめよ。國民の弛みなき反省は急角度に、戰力を上昇しつゝありと覺ゆるが、**これを無制限に增高するためには、指導層特に官吏の自己反省が絶對不可缺たることを銘記せよ。**軍と官とに對しては、日本人はその久しきに亙る傳統に就て、これに絶對に近き信頼をかけてゐる。**この日本人の美點と氣風とに鑑みて、自らも國民の一員たるの心構へに徹し以て國民に對處するの要は勿論身を以て官吏が特權階級に非ざることを證明せよ。**然るに、時にその職權を、時に役得と稱するもののために、國民の忠誠心を傷けつゝ總力の結集を阻むが如き事實を見せつけられると、戰力の低下はあれ斷じて增强は至難となる。

前線將兵の苦鬪を忍び配給を以て滿足する國民の先頭を切つて、耐乏の生活に甘んずるもの、命倍の働きをなすものは必ず官吏たらざれば國危し。**官吏にして職權を濫用するものは元より官紀を紊亂するものとして必罰あるべく、闇あれば非國民としても特に國民の儀表、垂範たるべき地位に鑑み峻烈嚴罰を要す。**行政査察、吏道刷新は今日こそ最もその急を要する所、一刻早くして勝利近く、一日遲れて勝機遠ざかる。重ねて言ふ。一億は『根こそぎ動員』を待つ。只管戰列に入つて勝利の途を拓くを希ふ。**政府の速かなる『斷』こそ國民の士氣を忽ち爆發せしめ、明朗闊達の前進あり、敵必滅の氣魄に充てしむるものと知れ。**

各々の持場で敢鬪

翼贊運動一元化せず

小磯總裁訓示

小磯大政翼贊會總裁は十六日午後二時初登廳、全職員らに對し大要次の如く訓示した

訓示要旨　大政翼贊の道は大政翼贊運動を通じ職域奉公により國民組織を確立し臣道實踐體制を實現するにあるがこれがためには二つの道がある、その一つは政治の面を通じてであり、他の一つは精神面を通じてである、いはゆる

大政翼贊　運動の中にはいろいろの團體乃至は分派があり最近この翼贊運動の一元化の必要が叫ばれてゐるが一應理念としては一元化が望ましい、しかしこの裏面事情を具さに觀察すると大和一致、一億結集、危局突破を開始すべき今日一元化運動を具現する上に於て若し不幸にして反目相剋でも起るやうなことありとすればそれは一億の結束を紊す惧れがある　こゝに於て私は大政翼贊會は

その機構　に於て從來通りの立場に於て邁進することの必要であることを自覺する

翼壯團長建川中將

副總裁兼任制を打破

大日本翼贊壯年團長の後任は前駐ソ大使建川美次中將に決定、十六日大政翼贊會から次の如く發令された、翼壯は從來翼贊會副總裁が團長を兼ねてゐたが今回慣套を打破し專任團長を採つたものである

總務　建川美次

大日本翼贊壯年團長を委囑す

建川中將　新潟縣出身、陸大卒、騎兵聯隊長、參謀本部課長、第十第四各師團長を經て昭和十一年豫備役、同十五年ソ聯駐剳特命全權大使となり活躍した

臨時閣議

十六日の臨時閣議は午前十時三十分首相官邸で全閣僚出席して開催、前田運通相より「緊急運輸措置要綱」につき說明決定、島田農商相より「大消費都市における食生活確保に關する緊急特別措置」を報告、午後一時五分散會した

筆陣

男子六割、女子四割といふ比率が、航空機作業工程における勞務編成の定說となつてゐるが、〇〇工業は男子二割、女子八割といふ驚くべき比率を以て、全く女子工員を主力とする全國にも珍らしい航空機工場である。

×　×

同工場は、かつてわが國紡績系業界の重鎭として特色ある企業方針と勞務管理で知られてゐただけに、從業員の九割五分までが女子であつて、航空機生產に轉換するに當つて最も苦心したのはその勞務編成であつたが、遂に不可能とさへ思はれる男女工員の比率に成功したのである。

×　×

これは同社の傳統的指導方針によるともちろんであるが、他の工場にも出來ない筈はない。同社が女子工員を「寮生」と呼ぶほかは、工員の待遇施設として特別に目立つものがないのに工場一家の肉親的企業体を形成してゐることとともに示唆するところ大きい。

警務員緊急募集
女子事務員採用
愛知縣
中島飛行機
半田[illegible]